

2022年度



# 教育長だより

生駒市教育委員会事務局  
生駒市東新町8番38号  
TEL: 0743-74-1111(代)  
文責: 原井葉子

## ☆ 「のびのびほっとルーム」がスタート!

6月21日、「のびのびほっとルーム」が開室しました。「教室らしくない教室」になるように部屋を改装し、東リ株式会社からカーペット、株式会社ウェブシャークからビーズソファ Yogibo など、企業の協賛、協力もいただいて、子どもたちにとって居心地の良い空間づくりが実現しました。



初日の集団活動では、ソファに座って自己紹介をし合ったり、これからどんなことをやっていきたいか出し合ったりして、和やかに過ごしました。これまで27人の入室相談や申し込みがあり、それぞれの希望に応じて集団と個別の活動を行っています。

市内の小・中学校では、学校に来にくい、教室に入りづらい子どもたちのために、別室登校や放課後登校、オンライン授業配信など、本人や保護者と学校が連携しながら、安心して過ごせる居場所や人との繋がりをつくることに取り組んでいます。いきいきほっとルーム、のびのびほっとルームもその一つです。子どもたちが、いきいき・のびのび活動できる時間、ほっとできる居場所になるよう、在籍校と連携を取りながら、進めていきます。

お問い合わせは下記を参照ください。

<https://www.city.ikoma.lg.jp/0000022454.html>

## ☆ 性の多様性と制服について

校長をしていた時、かつての教え子から連絡があり、20歳の同窓会以来十数年ぶりに会いました。そこで、自分はゲイであること、そのことでこれまで悩み、考え、行動してきたことを打ち明けてくれました。「学校にも、自分の性自認や性的指向で悩んでいる子どもたちがいる。先生には、その子たちに寄り添い、手を差し伸べてあげてほしい」と彼に言われたことが、改めて性の多様性、性的マイノリティについて理解し、学校で何ができるかを考えるきっかけになりました。

現在、市内の中学校では、多様な性に対応した制服の導入を進めています。一人一人の個性を尊重し、自分が着たい制服を選ぶようになることが大切だと考えます。制服のあり方を見直し、考えることが、子どもたちへの教育だけでなく、多様性を尊重する社会の実現につながっていくことを願っています。

## ☆ 「教育フォーラム」を開催します

7月31日(日) 14:00から、北コミュニティセンターISTAはばたきで、「第1回いこま教育フォーラム2022」を開催します。

「ICTを使うと授業はどう変わるの?」をテーマに、市内各学校の取組や先生・子どもたちの声を映像で紹介し、4人の登壇者が、それぞれの立場から、ICT教育の「今」と「これから」を語り合います。当日は、会場での参加はもちろん、YouTubeのLive配信でも視聴できます。また、アプリを使って、参加者のスマホや端末からリアルタイムに質問、意見を受け付け、反映します。

近日中に、小中学校の保護者向けにチラシを配布します。広報いこまち7月号にも案内を掲載しているのでご覧ください。

多くの方々と生駒市の教育を考える機会になるよう、皆様の参加をお待ちしています。

## ☆ 生駒市の学校で先生を!

今、全国的に深刻な問題となっている「教員不足」。1月末の文部科学省の調査では、全国の公立学校1897校で2558人の教員が不足しているという結果が公表されています。

生駒市内の小学校でも、新年度のスタートから少人数や専科、特別支援を担当する加配教員が配置されず、現在も空いた状態の学校が数校あります。教員免許更新制が廃止になり、7月1日から休眠状態の免許状が有効になりました。教員を退職した方や教員の仕事に関心のある方、生駒市の子どもたちのために、ぜひ、力をお貸しください。

教育総務課 0743-74-1111(代)

<https://www.city.ikoma.lg.jp/0000003101.html>